

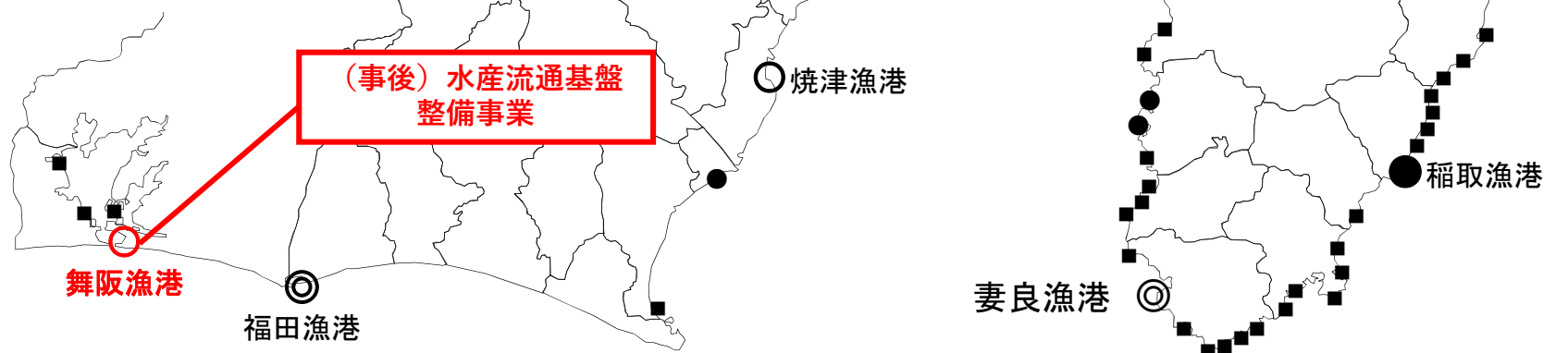
港湾局漁港整備課 事後評価

【事後評価案件】

事業名	箇所名
水産流通基盤整備事業	舞阪漁港

漁港種別	県管理	市町管理	合計
第4種漁港 ◎	2	—	2
第3種漁港 ○	3	1	4
第2種漁港 ●	3	6	9
第1種漁港 ■	—	33	33
	8	40	48

※県管理漁港：漁港名あり



第3種漁港 舞阪漁港の概要



- 水産物等の大消費地の浜松市に立地
- 交通の要衝に位置し、水産物の輸送に優位
- ◎鮮魚や水産加工品を供給する「**流通拠点漁港**」として発展
- 全国有数のシラス水揚げ量を誇り、ノリ、カキ、マダイ等を出荷



課題

漁業作業効率の低調

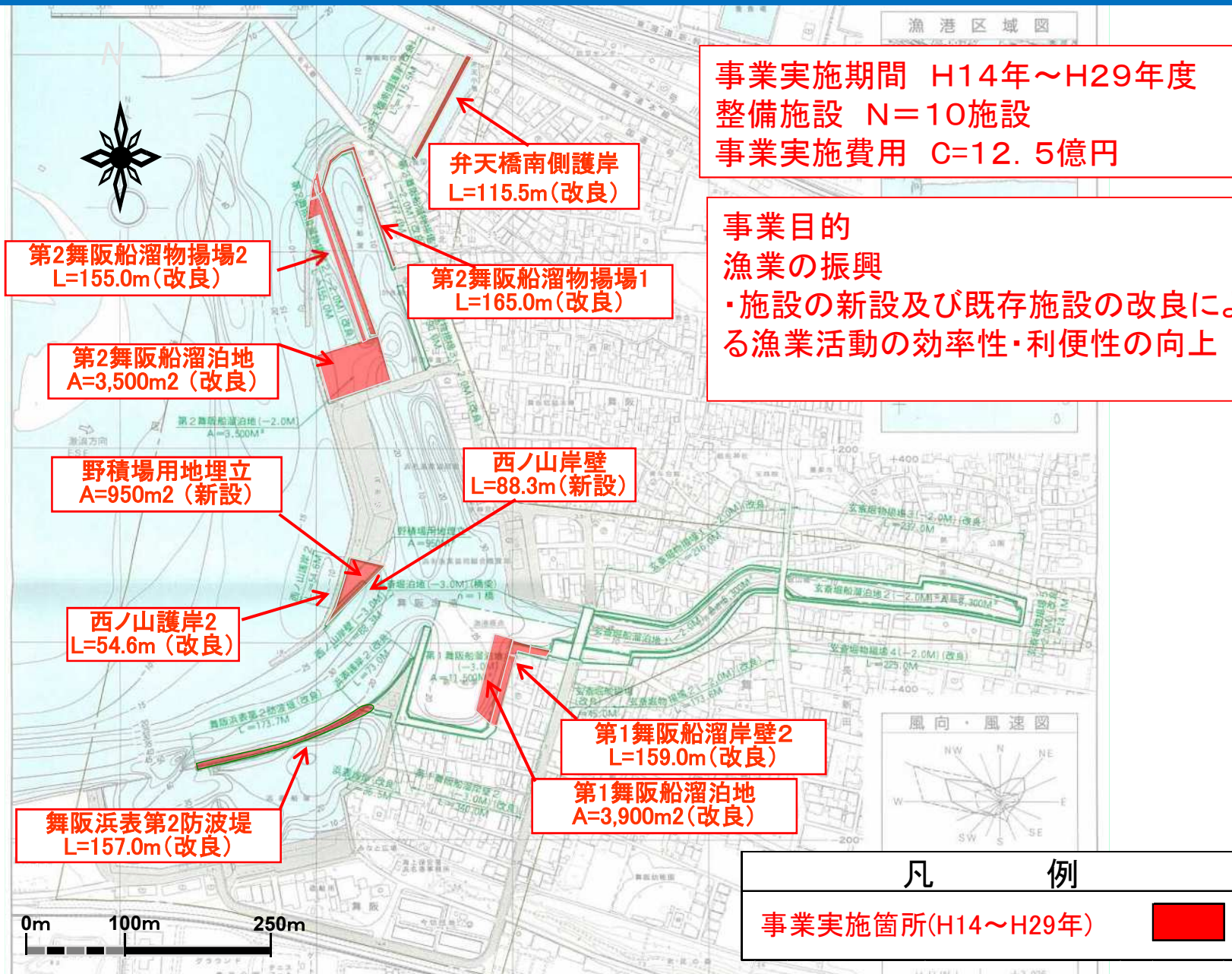
- 岸壁及び背後用地の不足による漁船の水揚げ待ち状態の発生
- 岸壁背後への車両の進入困難
- 船舶の大型化に対する岸壁水深の不足

【舞阪漁港の港勢（R3）】

■属地陸揚金額 1, 657百万円
 ■属地陸揚量 2, 172 t
 ■登録漁船隻数 529隻

■主な漁業種 曳網、採貝、海面養殖
 ■主な魚種 シラス、ノリ、カキ、マダイ

事業実施箇所 平面図



事業効果

西ノ山岸壁・野積場



漁業作業スペースの増加・効率化

第2舞阪船溜物揚場1



事業効果 2

舞阪浜表第2防波堤

整備前

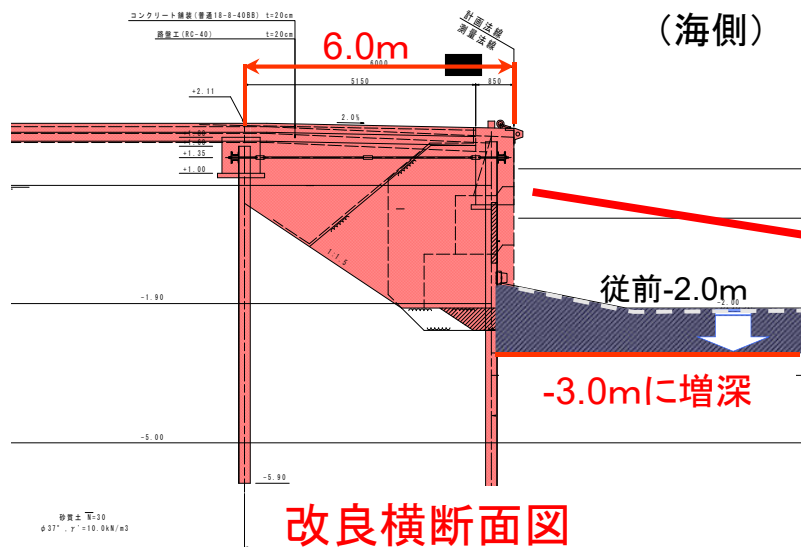
整備後



港内作業の安全性・作業性向上



第1舞阪船溜岸壁2



整備後

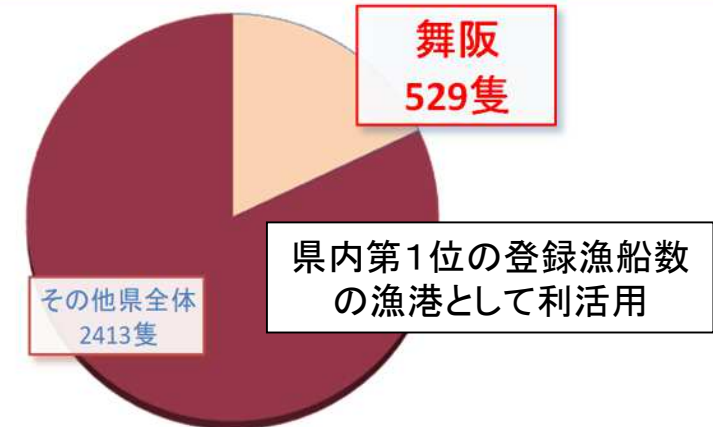


事業効果の発現

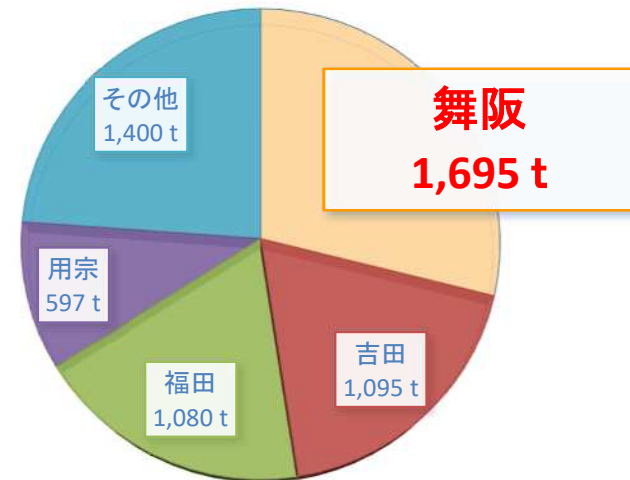


効率的な漁業活動に寄与

漁業者1人当りシラス水揚量
 事業初年度 H14年 2.9 (t/人)
 事業完了年度 H29年 3.3 (t/人)



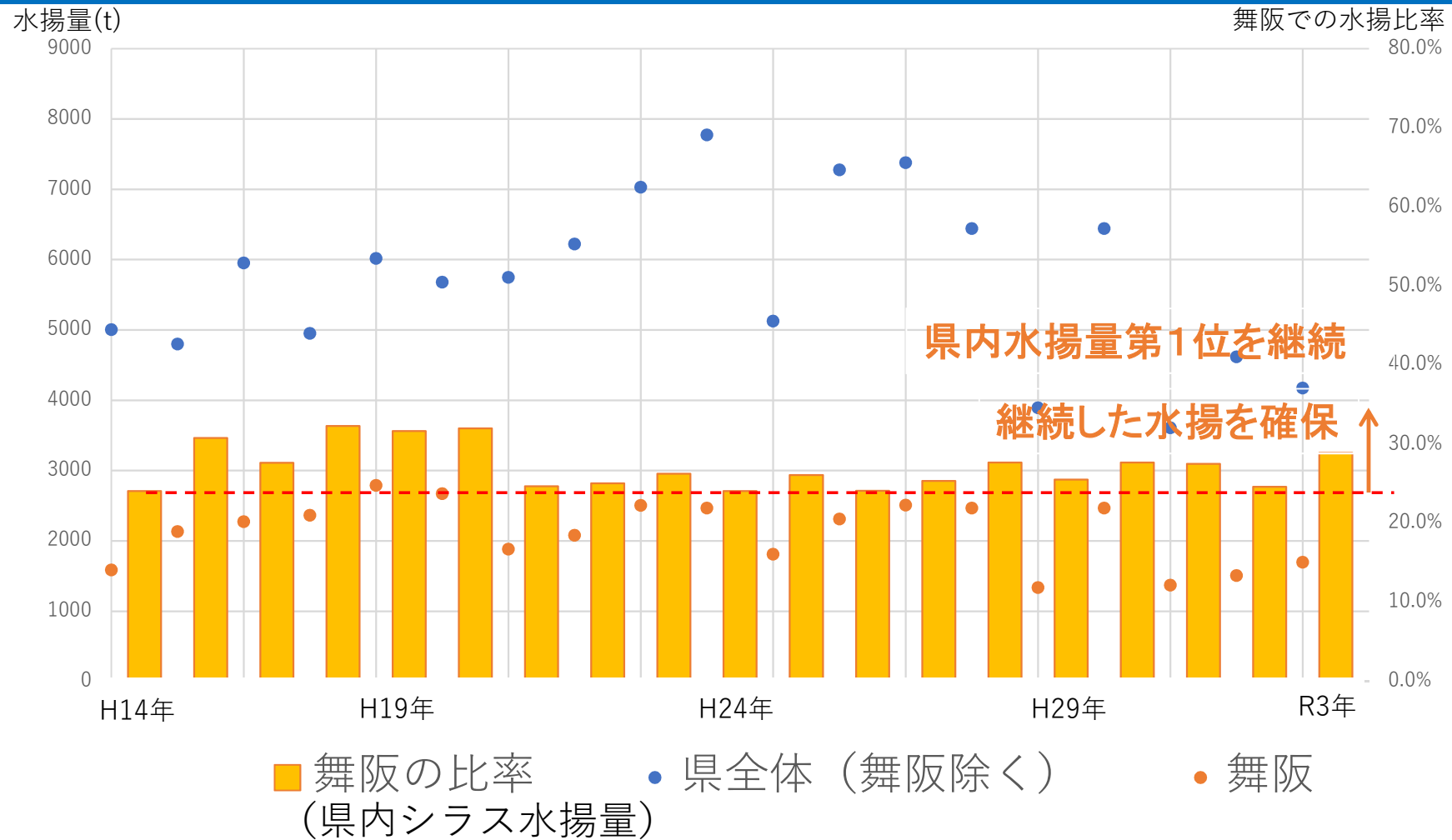
県内漁港の登録漁船数(R3年)



県内漁港のシラス水揚量(R3年)

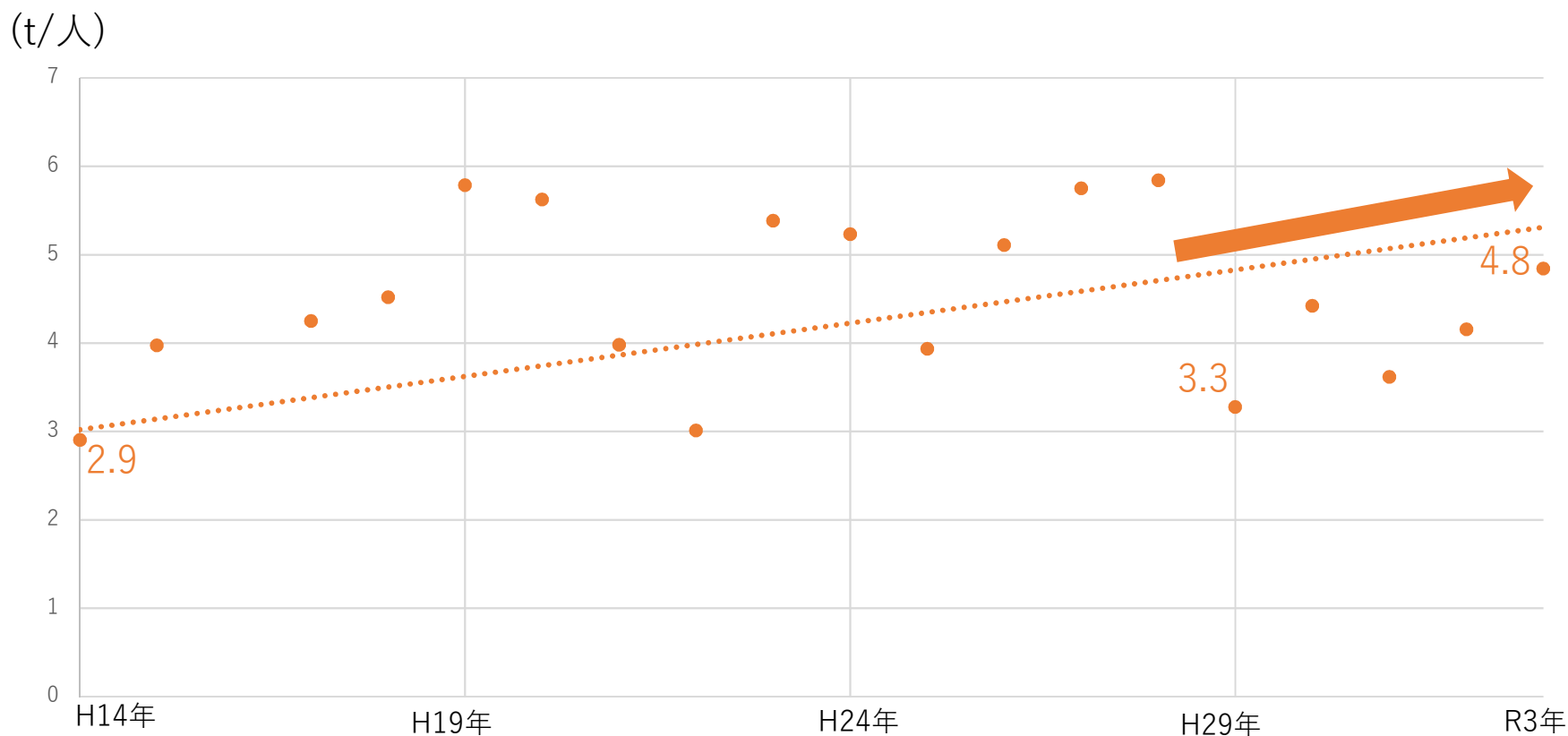
静岡県で第1位のシラス水揚量を誇る流通拠点として機能

事業効果 シラス水揚量の推移



- ・ H14年以降 県内水シラス揚量第1位を継続
- ・ 県内における舞阪漁港でのシラス水揚比率 H14年の比率 (約24%) 以上を継続して確保

事業効果 漁業者 1 人当りシラス水揚量の推移



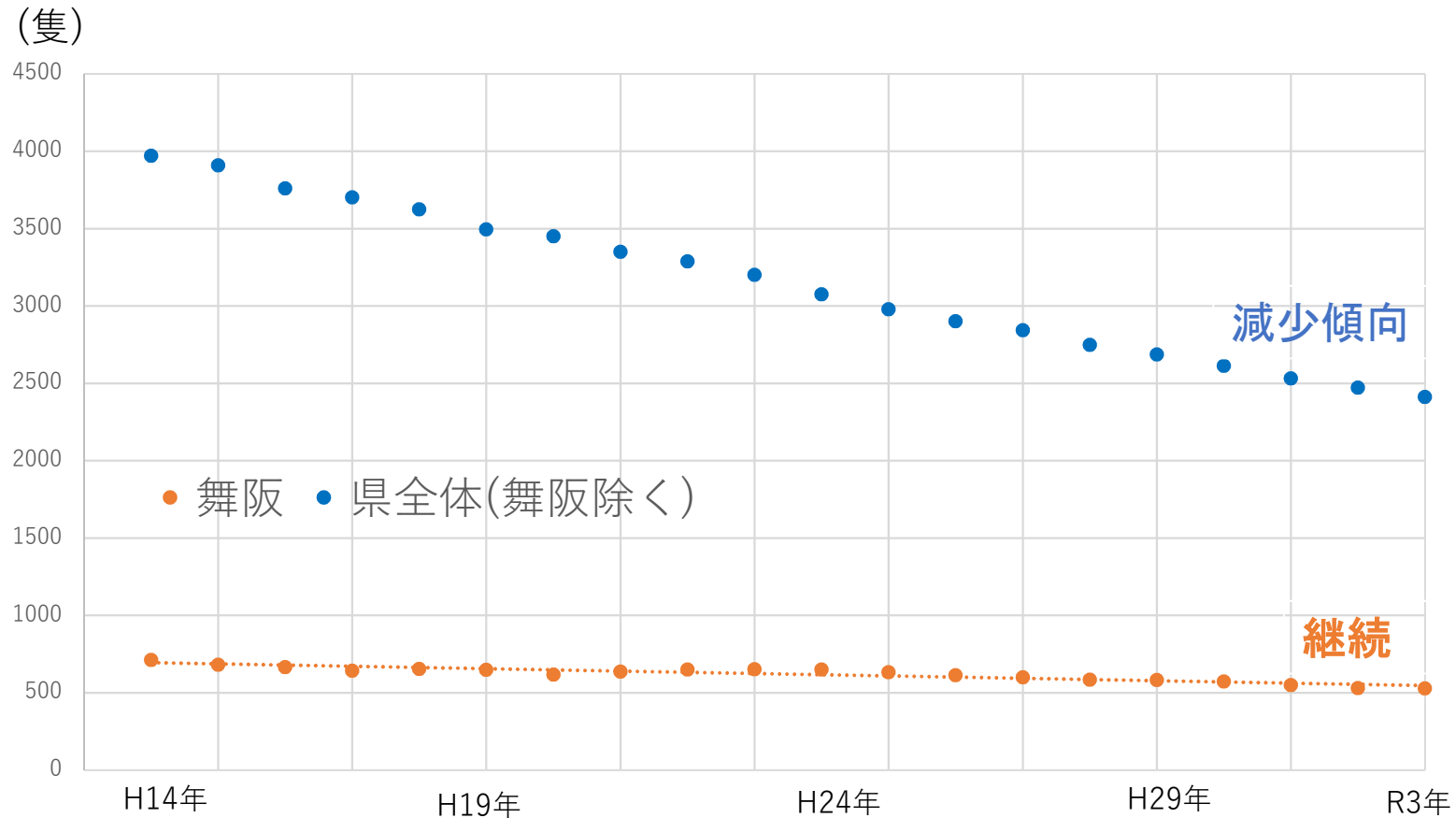
効率的な漁業活動に寄与

事業初年度 H14年 2.9 (t/人)

事業完了年度 H29年 3.3 (t/人)

R3年 4.8 (t/人)

事業効果 登録漁船数の推移



登録漁船数第1位を継続
漁船の基地港として継続して機能

対応方針

(1) 評価結果

- 事業の効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない

(2) 今後の課題等

- 大規模地震後の水産流通機能の確保

→ 現行の漁港漁場整備計画（H30～R7年）に基づき、耐震・耐津波対策を推進する

- 整備施設の適切な維持管理を継続する

(3) 同種事業への反映等

- 既存施設の有効活用並びに投資効果の早期発現の観点に留意し、事業を推進する